

複合型施設の強みを生かした 世代間交流の場に

大御門地区まちづくり委員会の取り組み

大御門地区まちづくり委員会は、平成²⁶年¹²月²⁰日に設立し、平成²⁷年⁷月³¹日に大御門体育センターを会場に、「まちづくりカフェ」をオープンしました。

オープン当日は、小学生を含め約50人という大盛況で、今後のカフェの行事予定表を入れた菓子袋を配布して「まちづくりカフェ」の周知を図りました。



大きな看板がお出迎え

その後、旧大御門保育所が「子育て支援センター」、「ファミリーサポートセンター」、「大御門地区福祉施設」の複合型施設として整備されることとなり、玄関やトイレ、遊戯室が高齢者や乳幼児が使いやすい施設に改修され、平成²⁷年¹⁰月に大御門地区まちづくり委員会の新しい活動拠点となりました。

委員会では、施設等の愛称を募集し、利用者による投票で「にこにこ」に決定しました。

毎週金曜日に「まちづくりカフェにこにこ」を開催し、各種教室・ゲーム・軽スポーツ・小物づくりなどの催しを行っています。

今年5月¹³日には、複合施設の楽しさを使って、世代間交流ミュージック・ケア（集団音楽療法）を行いました。高齢者にとっては、ひ孫ほどの乳児、そのお母さん達と一緒に、子育て支援センターの先生の指導と、ファミリーサポートセンターの先生のキーボード演奏に合わせて、ゆっくり体を動かしながら、音楽と

笑いに包まれた40分間でした。その後、食事やおしゃべりをしてふれあい、有意義な1日となりました。

第1火曜日と第3金曜日は体操教室の日で、「3B体操」をしています。火曜日は、少しだけ早いリズムで、金曜日はご年配の方でもできるようにゆったり、ゆっくりと体を動かしていただいています。

「3B体操」は、プログラムに「遊びの要素」を取り入れ、ボールなどの用具を使い、音楽に合わせて行うので、誰でも無理なく安全に行える楽しい体操です。

昨年¹²月に開催した子ども交流会（クリスマス会）では、フェルトのリース作りやビンゴゲームで交流



「ミュージック・ケア」で世代間交流

を深め、小学生が高齢者を手伝っていました。帰る際には、高齢者全員とハイタッチをして帰る子どももいて、子ども達と高齢者の心がしっかりとつながっていると実感しました。

これからも地域の方が「にこにこ」と笑顔になれる取り組みをして、みんなで支え合っていきたいと思えます。

（大御門地区集落支援員

細田 昌代）



「3B体操」で元気はつらつ